

ボールの特性レポート

BALL REPORT



| | | | | | |
|------|-------|-----|-------|-----------------------|-----------|
| ボール名 | バースト | 投球者 | 徳江 和則 | センター | 平和島スターボウル |
| RG | 2.460 | △RG | 0.040 | ●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール | |

テストボール：バースト

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：シャープ・ノイズ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

箱出し状態

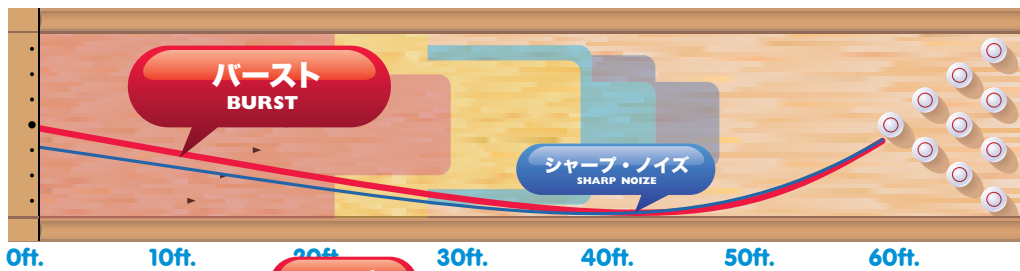
加工

ペーパー

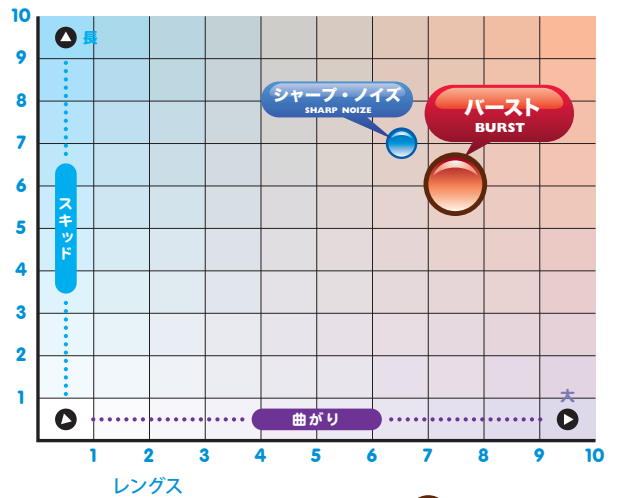
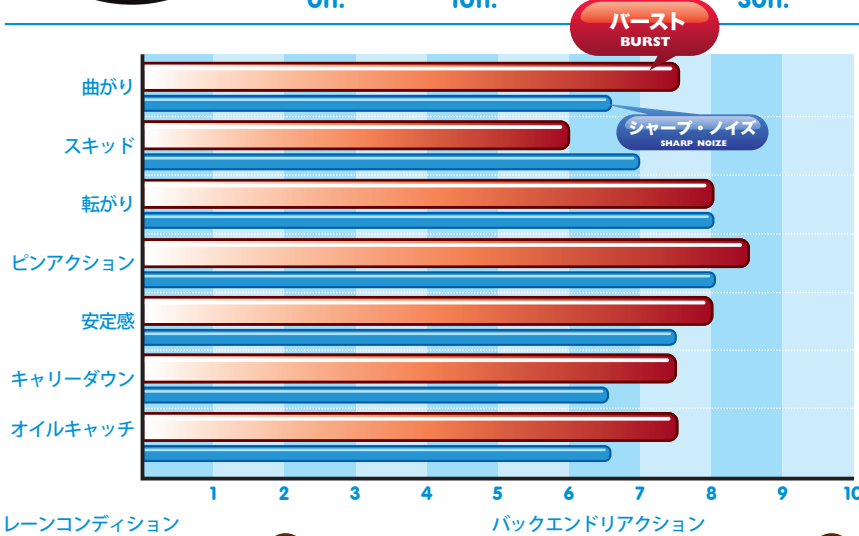
ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

現コロムビア社がエポナイト工場へ拠点を移して新生コロムビアと生まれ変わり、第1弾として全世界へ発表されたリサージェンス。どれだけ長い年月「ヘビーオイル対応のボール」としてリサージェンスが使われていたことをご存知でしょうか。

”NEW ERA”カバーストックと”Resurgence”コアとのコンビネーション。

当時のHP (ハイ・パフォーマンス) クラスの価格帯は48,000円台、コロムビア社はその性能をそのままNOI ZEシリーズMP (ミッドプライス 37,000円台) の後継モデルとしてこのBURSTを提供致します。

このBURSTは表面仕上げ：800/1000/2000/4000とポリッシュ加工が施してあり、リサージェンスそのままのスペックでありながらスキッド感とドライゾーンでの強いグリップ感を得られます。またスキッドする性能でありながらオイルに対しての弱さは感じられず、キャッチの強いボールの類に当てはめられるでしょう。

現在自分のボウリングスタイルにボールの性能と表面加工とを組み合わせ、レポートリーを組むことが当たり前になってきました。初代のリサージェンスとの違いは表面加工のみですので、表面加工を600/800/1000アブラロンに施せば初代リサージェンスとしても使用でき、箱出しのままBURSTの性能双方のパフォーマンス得られる、BURSTとしてもリサージェンスとしてもどちらでもチョイスが可能な性能で高いスペックでありながらミッドプライスであるボールは各々の性能を加味しても他では見つけられないと思います。

特記事項

BURSTのまま使うもよし。またリサージェンスとして使うもよし。
二つを持つことにより、双方甲乙付けがたい高い性能をその手で是非お試しください。